

活動報告 2026 年 7 月



ケイト・アレッシア・マカロン

年齢：25 歳

出身地：オーストラリア連邦・
クイーンズランド州・ブリスベン市



グエン・タイン・ダット

年齢：24 歳

出身地：ベトナム社会主義共和国・
ニンビン省・グエンウイ市

2024年7月～8月に2人の国際交流員が着任しました。国際交流員は、市民の多文化共生や国際化推進に資することを目的とします。今まで市内の学校等からいただいた依頼をいくつかご紹介します。

キャニオニングの事前授業

キャニオニングを体験する前に子どもたちは事前授業に参加しなければなりません。事前授業では、児童たちはユネスコエコパークについて、キャニオニングを安全に行う方法、そして当日に必要な重要な事項について学びます。当日のサポートを担当する私たちは、子どもたちに自己紹介をするために授業に参加します。当日、何か助けが必要な時に私たちの名前を知っておいてもらうことが重要ですし、子どもたちの緊張を和らげるのにも役立ちます。

7月1日：直川小学校、米水津中学校

7月6日：木立小学校

7月8日：下堅田堅小学校



活動報告 2026 年 7 月

キャニオニング

国際交流員はガイドとしてエコパークのキャニオニングに参加しました。子どもたちを手伝いながら、自国について話したり、エコパークの良さを感じたりしました。

7月3日：明治小学校

7月9日：直川小学校

7月10日：上堅田小学校

7月13日：佐伯小学校

7月14日：佐伯小学校

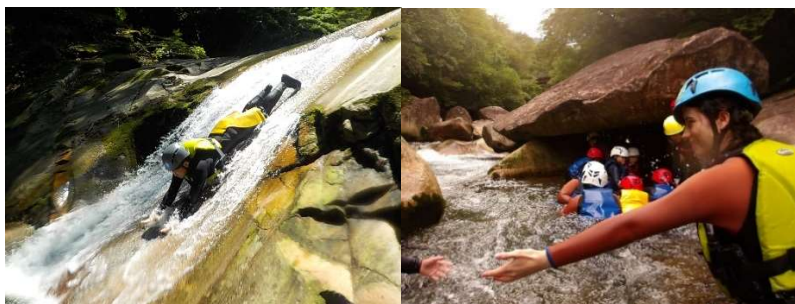
7月15日：八幡小学校（ダットのみ）

7月16日：米水津中学校

7月27日：東小学校（ダットのみ）

7月28日：木立小学校（ダットのみ）

7月31日：豊南高校（ダットのみ）



ワールド・カルチャー・クラブ・海外の文化を知ろうイベント

今年も教育委員会とワールド・カルチャー・クラブを開催し、東小学校にある児童クラブで行います。対象は1年生から6年生までの40人です。7月のテーマはベトナムでダットは簡単な発表をしてから、子どもにベトナムのじゃんけんを教え、皆で「絵を見て、答えを当てるゲーム」をしました。（7月8日）



活動報告 2026 年 7 月

ワンパーク

今年開所しただれでも利用できる「ワンパーク」で国際交流員のケイトはオーストラリアとゲームを子どもたちに紹介しました。子どもたちは3歳から7歳までで元気に遊んでくれました。子どもたちはすでにオーストラリアの動物についてよく知っていて、クイズなどですぐ答えられました。（7月12日）



姉妹都市提携 30 周年を記念してグラッドストンの訪問

7月25日から31日にかけて、ケイトは佐伯市長、市職員4名、そして市内の中学生7名とともに、グラッドストン市を訪問し、姉妹都市提携30周年を記念した交流事業に参加しました。

7月25日：午前5時に皆で佐伯市役所を出発し、福岡空港へ向かいました。福岡からシンガポールを経由してオーストラリアのブリスベンへ向かい、乗り継ぎを含め約20時間の長旅となりました。



活動報告 2026 年 7 月

7月26日：午前7時にブリスベン空港へ到着した後、マウント・クーサの展望台や動物保護施設を訪れ、ステーキランチを楽しみました。夕方には両親も合流し、ナイトマーケットを案内してくれました。



7月27日：午前5時30分にホテルを出発し、電車でブリスベン国内空港へ向かいました。グラッドストーン行きの飛行機で移動し、午前9時45分に到着すると、歓迎の列に迎えられました。

その後、グラッドストーン市内を見学し、先住民の文化について学びました。また、元市長の方や在ブリスベン日本総領事も参加した市民式典と歓迎夕食会に出席しました。私は市長と中学生たちの間の通訳を担当し、滞在中の交流をサポートしました。グラッドストンの皆さんから温かい歓迎を受け、とても嬉しく感じました。



7月28日：中学生たちとともにグラッドストーン市内の2つの高校を訪問しました。学校では通訳を務めるとともに、生徒たちのパフォーマンスを手伝いました。佐伯市の中学生たちは現地の生徒たちと交流し、さまざまな話をする中で、楽しく貴重な時間を過ごしました。



活動報告 2026 年 7 月

7月29日：ダムと水産養殖センターを訪問し、グラッドストーンにおける水の利用や魚の養殖について学びました。午後にはグラッドストーン美術館を訪れ、姉妹都市提携 30 周年を記念した展覧会を見学しました。その後、全員で先住民の方々によるスカーフの染色体験に参加し、文化についてさらに理解を深めました。



7月30日：地元の防災センターを訪問し、グラッドストーン市が自然災害にどのように備え、対応しているのかについて説明を受けました。災害時に活用されるさまざまなシステムや関係機関、避難方法などについて学ぶことができました。その後、グラッドストーン市の図書館で市長が5歳までの子どもに絵本交流で送った絵本を読んで、エプロンシアターをしました。ケイトがエプロンシアターの通訳をしました。午後にオーストラリアで大きな被害をもたらす火災について学び、先住民の伝統的な「文化的な焼き払い（cultural burning）」を体験しました。夕方の送別会では、グラッドストーン市がヘビの展示、スポーツ、フェイスペイントなど、さまざまなアクティビティを用意してくださいました。中学生たちは皆さんの前で歌と踊りを披露し、私は市長の別れの挨拶の通訳を務めました。



7月31日：午前 10 時 30 分にグラッドストーンを出発し、ブリスベンへ戻りました。帰国便のため国際空港へ向かうまで約 4 時間あったため、その時間を利用してブリスベンを観光しました。ハンバーガーを食べ、観覧車に乗った後、最後に記念品を購入しました。

慌ただしい日程ではありましたが、姉妹都市提携 30 周年という節目に、佐伯市の皆さんとともにグラッドストーンを訪問できたことは、とても貴重な経験となりました。学校訪問や文化体験を通して現地の人々と交流することができ、両市の長年にわたる友好関係を改めて感じることができました。グラッドストーン市の皆様からいただいた温かいおもてなしに、心から感謝しています。